

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

インターンシップでの活動体験記

今回の「鏡川流域パートナーシップだより」はインターンシップ生の山下(高知大学農林海洋科学部3回生)が担当させていただきます！今回はインターンシップ中に体験させてもらったことや、それについて感じたことを、インターンシップ体験活動記として紹介します！

「かがみがわフェスタを知るランチ会」に参加いたしました！

「支流がいくつも集まり、本流で合流する」。そんな鏡川のように、人と人のつながりをつくることを目指す「かがみがわフェスタ」に参加し、お話を伺いました。これまでの講座に参加した方は、講座参加者同士の交流は現在でも長く続いていると仰っていました。講座が人と人のつながりを広げる場となっていることがよく理解できました。



←ランチは「BAL 土佐山」の土佐ジローの卵かけご飯を頂きました！



自然がいっぱいの鏡川源流では、「Biome」を使った植物調査がより楽しくなりました！



「鏡川環境保全の会」が主催する、「川の生き物探検隊」に参加させていただきました！

物部川漁業協同組合の松浦組合長から、長年、川に親しんできた人ならではのお話を聞き、そのあと鏡川に入ってたくさんのゴリなどの魚や、エビ、カニを子供たちと捕まえて観察しました。何匹も続けてヨシノボリなどの魚を捕るハンターが何人もいてびっくりしました…。清流鏡川で育ったアユを炭火で焼いたアユの塩焼きは香ばしくて、身もふわふわでした。五感で鏡川を味わうことができる体験でした！



←松浦組合長によるお話の様子です。お話にあったアユカケという魚を見つけようと頑張りましたが、残念…。リベンジします！

AI が写真から生物名の候補を挙げてくれるアプリ「Biome」を使いました！

「これかな？」と思った種名をつけて投稿すると、他のユーザーから種名の提案が！「しつもん投稿」の機能を使い、気になる種名をユーザーに聞くことができます。早い人では数分でお答えくださいました。気軽にチャレンジできるクエストもゲーム感覚で楽しみました！



「まちのコイン」では特産物がゲットできる抽選会もあります♪

「しつもん投稿」を使ってクエスト達成できました！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android